

「できる!」をもっと「できる!」に



5領域活動プログラム

人間関係・社会性

【ねらい】

- ・他者との関わり（人間関係）の形成（SST）
- ・他者の意図や感情の理解
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間づくりと集団への参加（集団遊び・外出活動）
- ・情緒の安定

【支援内容】

- ・他者との関わり（人間関係）の形成
人に対する基本的な信頼感をもち、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることができるように支援する。（SST）
- ・他者の意図や感情の理解
他者の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動をとることができるように支援する。
- ・自己の理解と行動の調整
自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴などを理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する。
- ・仲間づくりと集団への参加
集団の雰囲気に合わせてたり、集団での決まり等を理解したりして、遊びや集団活動などに積極的に参加できるように支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。（集団遊び・外出活動）
- ・情緒の安定
自身の感情、気持ち、生理的な状態像への気づきや関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持てるように援助し、変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活ができるよう支援する。
自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談等にのことで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう支援する。

運動・感覚

【ねらい】

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能
- ・姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用
- ・日常生活に必要な基本動作
- ・身体の移動能力の向上（リズム体操・サーキット）

- ・保有する感覚の活用
- ・感覚の補助及び代行手段の活用
- ・感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動

【支援内容】

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能
日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ることなどの基本的技能に関することを支援する。
- ・姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用
姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合。
- ・日常生活等に必要な基本動作
食事、排泄、衣服の着脱など日常生活に必要な基本動作や、活動する上で必要な基本動作を身につけることができるよう支援する。
- ・身体の移動能力の向上
自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力や、事業所外での移動や交通機関の利用など、社会的な場面における移動能力の向上が図られるよう支援する。
- ・保有する感覚の活用（リズム体操・サーキット）
個々の感覚の状態とその活用の仕方を把握した上で、保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚を活動を通じて十分に活用できるよう支援する。
- ・感覚の補助及び代行手段の活用
障害の状態や発達の段階、興味関心に応じて、将来の社会生活等に結び付くように、保有する感覚を用いて状況を把握しやすくするよう各種の補助機器やICTを活用及び、他の感覚や機器での代行的が確にできるように支援する。
- ・感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動
視覚、聴覚、触覚などの保有するいろいろな感覚やその補助及び代行手段を総合的に活用して、情報を収集したり、環境の状況を把握したりして、的確な判断や行動ができるよう支援する。

言語・コミュニケーション

【ねらい】

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上（SST）
- ・言語の受容と表出
- ・言語の形成と活用
- ・コミュニケーション手段の選択と活用
- ・状況に応じたコミュニケーション

【支援内容】

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
障害の種類や程度、興味・関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りを用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的能力を身に付けることができるよう支援する。（SST）
- ・言語の受容と表出
話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を受け止めたり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援する。
- ・言語の形成と活用
遊びの中でコミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるよう支援する。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用
障害の特性及び心身の発達段階等に応じて、話し言葉や各種の文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用し、他者とのコミュニケーションが円滑にできるよう支援する。
- ・状況に応じたコミュニケーション
コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションをとれるように支援する。

認知・行動

【ねらい】

- ・感覚や認知の特性についての理解と対応（SST）
- ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
- ・行動障害への予防及び対応

【支援内容】

- ・感覚や認知の特性についての理解と対応
一人一人の感覚や認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるようにするとともに、特に自己の感覚の過敏さや認知の偏りなどの特性について理解し、適切に対応できるよう支援する。（SST）
- ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。
- ・行動障害への予防及び対応
感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。

健康・生活

【ねらい】

- ・健康状態の把握・維持・改善
- ・生活のリズムや生活習慣の形成（宿題のサポート）
- ・病気の状態の理解と生活管理
- ・身体各部の状態の理解と保護
- ・障害の特性の理解と生活環境の調整
- ・生活におけるマネジメントスキルの獲得

【支援内容】

- ・健康状態の把握
健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難であることでの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。（検温）
- ・健康状態の維持・改善
障害により運動量が少なくなったり、体力が低下したりすることを防ぐために、日常生活における適切な健康の自己管理ができるように支援する。
- ・生活リズムや生活経験の形成
睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する。また、衣服の調節、室温の調節や換気、感染予防など、健康な生活環境への配慮を行う。（消毒・手洗い・トイレトレーニング・長期休み時の全員での掃除・整理・整頓）（学校の宿題のサポート）
- ・病気の状態の理解と生活管理
医療機関や保護者と連携を図りながら、自分の病気の状態を理解し、病気の状態を維持・改善をしていくため、自分の生活を自ら管理することができる力を育てていけるよう支援する。
- ・身体各部の状態の理解と保護
発達の段階に応じて、身体各部の状態や補助機器を用いる際の留意点等を理解し、自らその部位を適切に保護する力を育てていけるよう支援する。
- ・障害の特性の理解と生活環境の調整
自らの障害にどのような特性があるのか理解し、それらがおよぼす生活上の困難について理解を深め、その状況に応じて、自己の行動や感情を調整したり、他者に対して主体的に働きかけたりして、より学習や生活をしやすい環境にしていけるための支援をする。
- ・構造化等により生活環境を整える
生活の中で、様々な遊びや体験の機会が適切に得られるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。
- ・生活におけるマネジメントスキルの獲得
自分で何をするかアイデアを出しながら、自分の生活をマネジメントすることができるよう、こどもの意向を受け止めながら、自分で組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援する。